別記第9号様式(第15条関係)(表)

**記 入 例**

|  |
| --- |
| 東京都立職業能力開発センター施設設備使用申請書令和〇年〇月〇日　　 東京都立城東職業能力開発センター所長　殿申請人住所 〒 000-0000　足立区綾瀬△丁目〇番地×号　使用目的の欄には研修・講習会及び技能検定と実施内容を記入してください。【技能検定の記入例】技能検定　型枠施工会社名・団体名　株式会社　〇〇〇印鑑は不要です。役職・代表者名　代表取締役　城東　太郎　　　　　　 　　　　　 　　　 　 東京都立職業能力開発センターの施設設備を使用したいので、東京都立職業能力開発センター条例施行規則第15条第1項の規定により、下記のとおり申請します。 |
| 　入場料等（技能検定受験手数料含む）を徴収する場合は「有」に〇をつけ、１人当たりの金額を記入してください。(徴収しない場合には「無」に〇をつけてください。) | 使用目的 | 社員研修(型枠施工) |  |
| 使用内容 | 施設の名称 | 年月日(　曜日) | 時　　　　　　間 |
| 第１教室 | 令和〇年〇月〇日(金) |  ９ 時００分から１８時００分まで |
| 第１教室 | 令和〇年〇月〇日(土) | ９ 時００分から１７時００分まで |
| 実習室１ | 令和〇年〇月〇日(土) | ９ 時００分から１７時００分まで |
| 　 |  | 時　 分から 　 時 分まで |
| 　 |  | 】]}時　 分から 　 時 分まで 人員は２０人］ |
| 　 |  | 時　 分から 　 時 分まで  |
| 入場料等徴収　の　有　無 | 有(1人　　　　　　円) 　無 | 人員　　　　　　　　２０人複数日使用する場合は各日の人数の総数を記入してください。【例】〇月〇日（金）　１０人〇月〇日（土）　１０人 |
| 使用時における会場責任者 | 住所　　　〒△△△-〇〇〇〇　　　　　　足立区綾瀬〇丁目×番△号氏名　　　城東　花子　　　　　　　　 　 　 電　話03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 |
| 会場に特別の設備をし、又は変更を加える場合、その内容 | 　申請団体・企業と会場責任者の団体・会社等が異なる場合、団体・会社名を記入してください。当日に連絡が必ずつく携帯電話等の電話番号を記入してください。使用する際にブルーシートで養生する。 |
| 使用したい設備、機 械 等 の 名 称 及 び 数 量 | 　第１教室：プロジェクター、スクリーン実習室１：作業台３台当センターの付帯設備の使用を希望する場合、場所、付帯設備名及び数量等を記入してください。 |
| 備考 | 　 |
| 　※裏面の使用の条件をよくお読みください。 |

(日本工業規格A列4番)

別記第9号様式(第15条関係)(裏)

|  |  |
| --- | --- |
| 〔使用の条件〕 | 1. 施設設備の使用に際しては、職業能力開発センターの所長又は校長の指示に従うこと。
2. 職業能力開発センターの所長又は校長の指示を守らず、又は他の使用者に迷惑を掛けるなど、職業能力開発センターの運営を阻害した者に対しては、使用承認を取り消し、又は以後の使用を制限することがあります。
3. 職業能力開発センターの業務運営上、必要が生じたときは、使用承認を取り消し、又は使用を中止させることがあります。
4. 使用を終了したときは、使用した施設を原状に回復すること。
5. 職業能力開発センターの施設設備に損害を与えた場合は、職業能力開発センターの所長又は校長が相当と認める損害額を賠償すること。ただし、職業能力開発センターの所長又は校長がやむを得ない理由があると認めたときは、減額し、又は免除することがあります。
6. 東京都立職業能力開発センター条例第12条第2項ただし書の規定に基づき、施設使用に関する実費を徴収します。
 |